３月　園だより

2023年３月１日
ききょう保育園

昨年に続き、ご厚意で保育園に桜を届けて下さった方がいらっしゃいました。今年は「カンヒザクラ」という桜だそうです。ソメイヨシノなどの品種より少し早く咲く品種です。昨年もこの時期にいただき、玄関に飾ったところ、「ピンクのお花きれい」と、顔を近づけている子がいたのですが、その場面がつい最近のことのように思い出されます。一年の早さと、春はもうすぐそこまで来ていることを感じます。3 月は、2023 年度 4 月からの入園内定者の入園前健康診断を行う月です。健康診断の日に合わせて、慣れ保育の日程を決めたり、4 月からの食事進度について相談したりします。保護者のみなさんも、入園した頃のことを思い出す季節なのではないでしょうか。

本日より、子どもたちは進級する新しい部屋での生活が始まります。2 歳児は同年齢保育から異年齢保育への移行です。「ヨウジサンニナルノ」と楽しみにしていた子は、初めての幼児室でどのように過ごすかな？人見知りのあの子はすみれの担任以外の大人たちとどのようにかかわりを持っていくのかな？好奇心旺盛のあの子は、お部屋のあちこちを探検して回るのかな？などみんながどのように幼児室に慣れていくのか楽しみです。ききょう組は保育園生活最後の月です。ひなぎく室にて同年齢で過ごします。これまでの成長を喜び合い、胸を張って小学生になって欲しいと思います。

３月の予定

２日（木）	入園前健康診断
	新年度書類配布
３日（金）	身体測定
	父母会役員会
６日（月）	小学校見学①（5 歳児）
７日（火）	おわかれ遠足（3･4･5歳児）
８日（水）	小学校見学②（5 歳児）
	誕生会会食
９日（木）	卒園の会 リハーサル（3･4･5 歳児）
10 日（金）	避難訓練
16 日（木）	卒園の会
24 日（金）	おわかれ会食
28 日（火）	ツクイ訪問（5 歳児）
31日（金）	今年度最後の日
4月１日（土）	入園の会
	（新入園児と参加可能なききょう組）

進級する部屋での生活

年度最後の１カ月は、進級後の部屋で生活します。4 月に入園、進級が重なると、新入園児はもちろん進級児も、新しい部屋と新担任に戸惑うことがあります。在園児は１カ月ほど前から、まずは現在の担任と一緒に、進級する部屋に引っ越しして慣れるようにし、4 月からは子どもたちが新担任を迎え入れるという方法を取っています。在園児が生活に慣れ、安心して過ごしていることで、新入園児を丁寧に受け入れられ、早いうちに全体が安定します。

第 50 回卒園の会

３月 16 日は「第 50 回 卒園の会」です。14 人のききょう組全員がいよいよ小学生になる季節になりました。本来は、一緒に過ごしてきた 3、4 歳児も参加します。今年度の卒園の会は、3 年ぶりに保育園のランチルームを会場にします。当日の子どもたちのマスク着用については、通常保育同様、各ご家庭にお任せ致します。保護者のみなさんのマスク着用については、園医と相談の上、追ってお知らせ致します。

おわかれ会食

子どもたちは保育園の食事が大好きです。乳児時代は初めて出合う食材や食べ慣れないメニューに違和感を覚えて「べえーっ」と出しますが、それでよいと考えています。一口食べてみたことによってどんな味がしたか知る機会になっています。日々、経験を積み重ねていくことでやがて「食べられる」ようになっていきます。4 歳児の後半から 5 歳児進級頃にかけて、苦手だったものが食べられるようになる子がたくさんいます。経験の積み重ねに、“大きくなった”という自信もプラスされているように思います。さて、この日は特別のメニューです。移行期間で離れていた「なかよし仲間」が集まる、久しぶりで最後の食事です。

2 月の保育園

地球博物館遠足　２月８日（水）

小田原市入生田にある生命の星・地球博物館へ小田急線に乗って行ってきました。46億年にわたる地球の歴史と生命の多様性を展示した博物館です。地球の誕生に欠かせない鉱物や宝石で始まり、顔を真上に

向けて見上げるほどの恐竜から小さな昆虫までたくさんの標本が展示されています。今年のききょうさんは、一番最初の「地球の誕生コーナー」にとても興味を持ち、難しい説明文を指して保育者に「読んで読んで」と言って、一生懸命聞いていました。クレーターは隕石が衝突してできたと知ると、「地球にはぶつからないの？」と考える子もいました。実際に地球に落ちたとみられる場所がわかる地図があり、印を見ながら「日本はどこだ？」と、探していました。お弁当は、館内の会議室をお借りしました。コロナ対策で換気の時間も取らなくてはいけないため、おやつタイムを含む昼食時間は30分でした。それでも大半の子が食べ終わり、おやつまでたどり着いていました。今年度8回目の遠足で、お弁当の扱いにも慣れてきているようでした。

ふじ組ひみつのあそび会　２月 18日（土）　9:00～19:00

４月からいよいよききょう組になる 14 人の子どもたちが同年齢での取り組みを行いました。内容はふじ組以外の子どもたちには「ひみつ」ですが、おうちの方からの感想を一部紹介させていただきます。

今回のひみつのあそび会は、今まで見たことのない程楽しみにしており、親としてその姿を見られて嬉しかったです。気が付いたら私も同様に楽しみになっていました。/健康記録カード（あそび会に向けてのもの）を持ち帰ってくるのを忘れたときも、悔しがり涙がでました。保育園で言われたことをしっかり守ろうとする気持ち、ちゃんとできなかったという悔しい気持ち、とっても大事だなと思いました。/こんなに楽しかった日も今日で終わり、次はゆりさんの番と言っていました。/いつの間にかしっかりと年長さんへ向けて成長しているのだなと実感しました。

3、4、5 歳児　２月のあそび

異年齢で過ごす最後の月は、ききょう組がみんなで楽しめるあそびを企画しました。ききょう組は、一人 1 回はリーダーになり、あそびをリードしました。当日を迎えるまでには、ききょう組みんなで話し合いをして、準備をしていました。

つくしんぼ 50 号、保護者ページに原稿をお寄せ下さりありがとうございました

お忙しい中、原稿をお寄せ下さりありがとうございました。毎年、初めて原稿を書いて下さった方、毎年原稿を書いて下さっている方、みなさまご協力ありがとうございました。保護者ページは、それぞれのご家庭の考え方を知ったり、子育てのヒントを得たり、見どころ満載です。つくしんぼは ３ 月末頃みなさんにお届け致しま

す。

今年度最後の園だよりとなりました

　コロナ禍で、2020 年度よりみんなが楽しみにしていた行事は次々と中止にせざるを得なくなりました。できる範囲で最大限の保育を職員一丸となって行ってきた次第です。今年度は、拡大防止対策はしつつ、少しずつ園の行事を取り戻し始めた一年間になりました。ききょう保育園が積み重ねてきた一つひとつの行事の良さを実感することができました。子どもも親も参加するききょう保育園の行事。げんき広場のエイサーでは有志の保護者が集まって踊りを練習しました。ベテランの保護者は踊りをバッチリ覚えていて、初めての方も一生懸命練習して当日を迎えました。ききょう組に見せて下さったお父さん花火師による花火は、当日の美しい輝きだけでなく、技を絶やさないように、という保護者のみなさんの気持ちが込められていることにも感動しました。ききょう保育園の子ども、保護者、職員で今後も一つひとつの行事を繋いで行きたいと思います。今年度も保育園へのご理解とご協力をありがとうございました。